

ご自由にお持ちください

歴史と緑のふるさと中川区では、現在、神社を中心に100本を超える保存樹が指定されています。年輪を重ねた大木は、長らく地域の移り変わりを見守ってきました。

樹木で再見！中川区-2-

前回に続き、区東部の保存樹をご紹介します。散歩などの際にお立ち寄りください。

「1」は中川図書館、および名古屋市図書館ホームページでご覧いただけます。

樹木で再見 中川区

検索

名古屋市中川図書館

〒454-0874 名古屋市中川区吉良町178-3
電話 052-353-5311



保存樹とは

「都市の美観風致を維持するための樹木の保存に関する法律」により指定された①「保存樹」と、「緑のまちづくり条例」（名古屋市）による②「保存樹木」があります。

法律の定める大きさに満たないもので価値の高い樹木を、名古屋市が「保存樹木」としています。

ここでは、①②をまとめて「保存樹」としてご紹介します。

中川区では、クスノキ、イチョウ、クロマツ、タブノキ、ケヤキ、クロガネモチ、エノキなどが指定されています。



荒子（あらこ）にちなんだ
中川図書館キャラクター
「あらっこ」

情報提供 名古屋市長政土木局緑地事業課



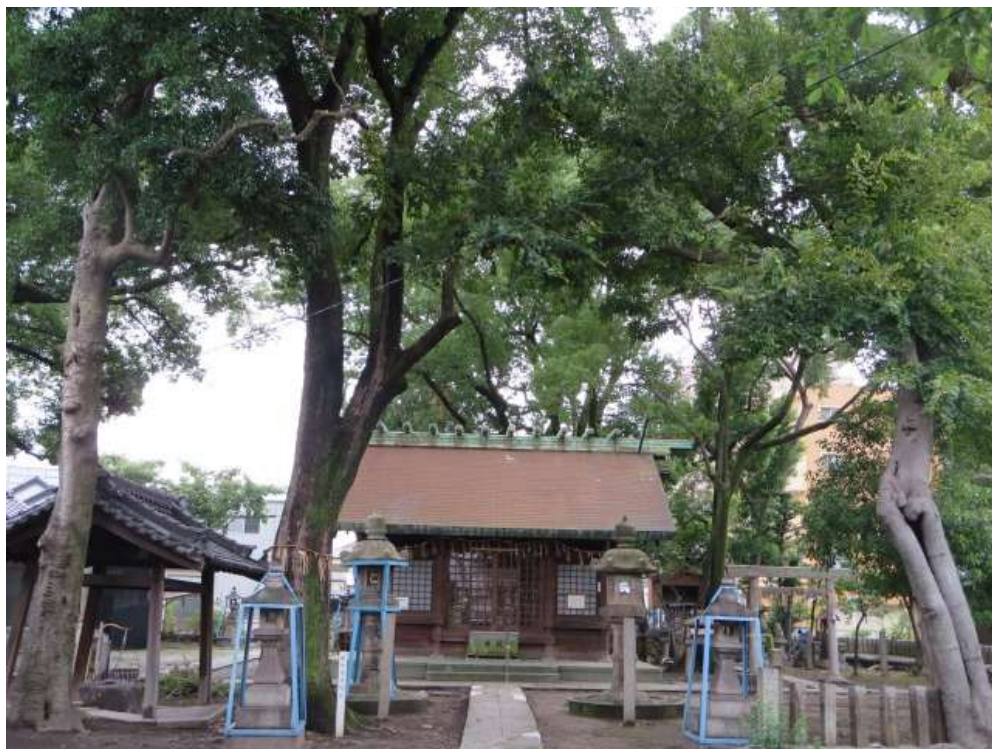
*地図は国土地理院「基盤地図情報」を利用しています。

<http://www.gsi.go.jp/kiban/etsuran.html>





露橋神明社【山王】のクスノキ1

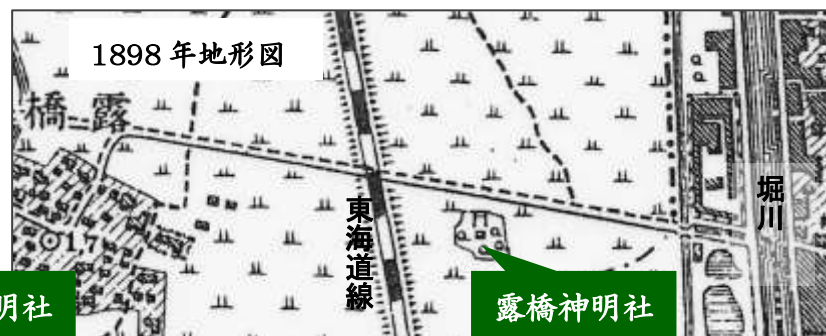


名古屋鉄道・山王（さんのう）駅の東側、山王3丁目にある露橋神明社（つゆはししんめいしゃ）には、クスノキの古木が何本もあります。保存樹には6本が指定されています【保存樹・中川・88～同93】。

1596（慶長3）年にこの地に天照大神（あまてらすおおみかみ）をまつ

り、以来村人に大切にされてきました。

現在は市街地ですが、明治時代は田園の中でした。





露橋神明社【山王】のクスノキ 2



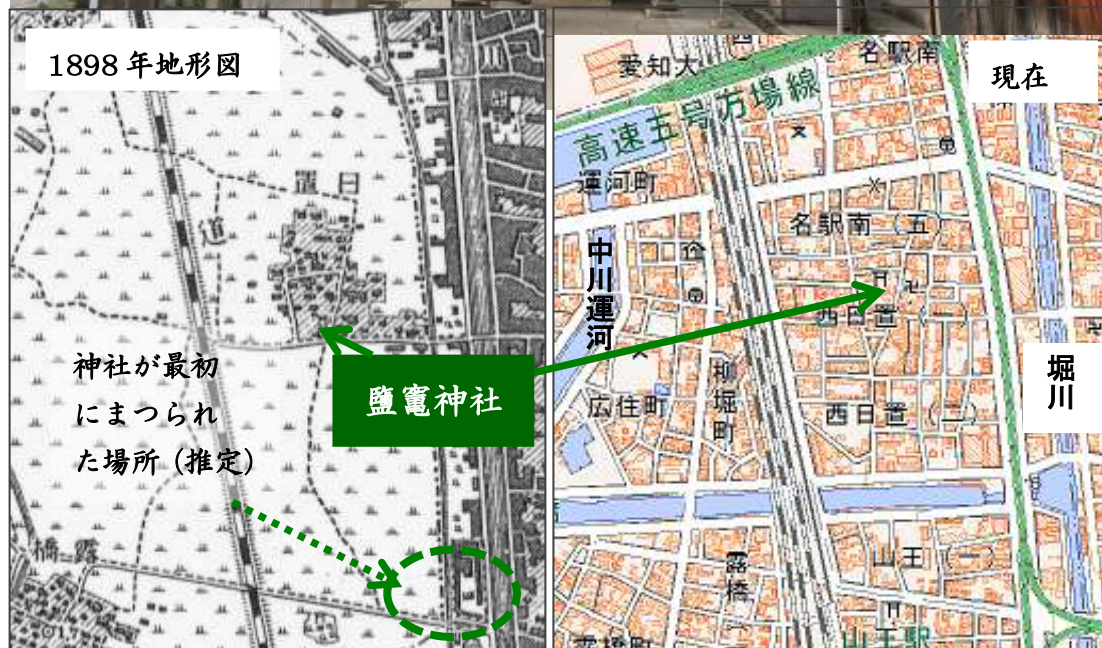
↑（左）東から本殿を見たところです。

（右）西の鳥居から見た神明社です。

江戸時代の弘化4（1847）年の露橋村の絵図にも描かれています。→



鹽竈神社【西日置】 1



西日置（にしひおき）1丁目にある鹽竈（しおがま）神社は、1610年の名古屋城築城の際、工事の無事を祈願して、現在の宮城県塩竈（しおがま）市の鹽竈大明神を勧請（かんじょう）したのが始まりです。当初は隣の古渡（ふるわたり）村との境、今はない、江川（えがわ）・笈瀬川（おいせがわ）を結ぶ三間杵筋（さんけんいりすじ）付近にまつられたと言われています。

★参考『中川区史』（1987年）、1万分の1地形図（1898年）



鹽竈神社【西日置】 2

→東側から見た境内です。左奥の大木はクスノキ（保存樹・中川・95）です。



→名古屋城築城の折に奉納された巨石です。



神社は、1816（文化 13）年の移転を経て、1835（天保 6）年、現在の地に移転しました。

大名の信仰が篤かったため、境内には、もと豊臣家の家臣であった福島正則（ふくしままさのり。1561 年-1624 年）が寄進したひょうたん型（豊臣家の印）の手水石（ちょうずいし）や、名古屋城築城の折に奉納された巨石が残されています。

★参考『中川区の歴史』（愛知県郷土資料刊行会）



鹽竈神社【西日置】のクロガネモチ・クスノキ



クロガネモチ【保存樹・中川・96】

↑境内の無三殿（むさんど）社は、痔に靈驗のある神として有名。「中川区風土記・むさんどの神様」をご覧ください。クロガネモチの古木もあります。



クスノキ【保存樹・中川・94】

↑保存樹クスノキ【中川・94、95】のほか、イチヨウの保存樹も複数あるようです。

現在は安産の神様としても知られ、地域の方々に親しまれています。



神明社【愛知町】



神明（しんめい）社は伊勢神宮内宮（ないくう）の祭神である天照大神（あまてらすおおみかみ）をまつる神社です。中川区地域は、古代から中世にかけて一柳御厨（いちやなぎのみくりや）と呼ばれる神宮領となっていたため、多くの神明社があります。

愛知町（あいちちょう）の神明社には多数のクスノキの古木があり、うっそうとした環境を作っています【保存樹・中川・11～13、同 104～106】。





八劔社【長良町】のクスノキ・エノキ・タブノキ



長良町（ながらちょう）にある八劔社（はっけん）社にはエノキ【保存樹・中川・7】、クロガネモチ【保存樹・中川・47】、タブノキ【保存樹・中川・50】、クスノキ【保存樹・中川・48～49】の5本の保存樹があります。

昼間も薄暗い境内には、秋葉神社、津島神社、白山大権現などをまつる社もあります。

★参考『市民研究報告書 平成18年度中川区・港区』（名古屋都市センター）



八劔社【長良町】の保存樹林



名古屋市は緑地保全地区制度を導入しています。緑地保全地区とは、自然環境の優れている都市内の樹木や水辺などを指定し、保全を図るものです。

八劔社の境内は、長良八劔特別緑地保全地区となっています。





神明社【万町】のタブノキ



2本のタブノキ



この地域は江戸時代、万町（まんちょう）村と言いました。現在の神明社は鉄筋コンクリート造りです。

境内には、タブノキ【保存樹・中川・37～38】、ムクノキ【保存樹・中川・39】が保存されています。比較的樹木が少ないため、明るい雰囲気となっています。